



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬株式会社

コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 長尾 智仁 TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 2020年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	27,403	3.1	1,946	160.7	1,952	124.5	1,552	168.9
2020年3月期第2四半期	26,582	13.2	746	△22.3	869	△19.3	577	△22.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,751百万円 (-%) 2020年3月期第2四半期 124百万円 (△90.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	54.77	—
2020年3月期第2四半期	20.42	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	79,445	43,070	54.2
2020年3月期	80,239	41,573	51.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 43,070百万円 2020年3月期 41,573百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
2021年3月期	—	7.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2020年3月期末配当金の内訳 普通配当7円00銭 創立100周年記念配当 3円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	0.9	2,000	32.7	1,900	10.8	1,500	131.1	52.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	30,563,199株	2020年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,208,500株	2020年3月期	2,234,979株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	28,341,971株	2020年3月期2Q	28,264,341株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 主力品の売上高	9
(2) 臨床開発状況	10
(3) [連結] 設備投資、減価償却費、研究開発費	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期から8億2千万円増加し、274億3百万円（前年同期比3.1%増）の増収となりました。利益面につきましては、売上高の増加に加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けた営業活動の自粛等に伴う経費減少により、営業利益19億4千6百万円（前年同期比160.7%増）、経常利益19億5千2百万円（前年同期比124.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億5千2百万円（前年同期比168.9%増）といずれも大幅な増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①医薬品事業

2020年3月に投薬期間制限が解除されたGnRHアンタゴニスト「レルミナ」の伸長や難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」等が堅調に増加したことに加え、2020年2月に東亜薬品工業より製造販売承認を承継した切迫早産における子宮収縮抑制剤「マグセント」の寄与等により、薬価改定に伴う減収要因をカバーしました。さらに本年9月に締結した杏林製薬との共同開発権等に伴う契約一時金の計上により、売上高は251億2千8百万円（前年同期比3.9%増）と増収となりました。また利益面では、売上高の増加に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業活動の自粛等による経費減少から、セグメント利益は36億2千5百万円（前年同期比57.8%増）と増益となりました。

## ②その他

動物用医薬品、検査、医療機器等の各事業を展開しているその他事業については、動物用医薬品の売上減少に加えて、事業所移転に伴う検査事業の受注減少等を受けて、売上高は22億7千5百万円（前年同期比5.4%減）となったものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う事業活動自粛による経費減少等により、セグメント利益は1億8千5百万円（前年同期比48.1%増）と減収増益となりました。

## &lt;新型コロナウイルス感染症拡大による事業および業績への影響&gt;

当社では新型コロナウイルス感染症による環境変化に対応するため、在宅勤務・時差出勤の推進、営業活動や出張の自粛等の対策を講じてまいりました。また生産部門、くすり相談室などの業務に関しては従業員の安全・健康に配慮した対策をとりつつ、出社を継続し、製品の安定供給と情報提供に努めております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、業績への影響は軽微であり、製品供給についても安定して供給できる体制を維持しております。

今後、新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化した場合、想定される事業活動への影響は以下のとおりです。

## (販売)

今後、国内における感染拡大が深刻化した場合には、医療機関へ来院する患者数の減少に伴う処方減少、疾患啓発活動の自粛等に伴う新規処方の減少等により売上へ影響を及ぼす可能性があります。

## (研究開発)

研究開発活動において現時点で大きな影響はありませんが、臨床試験を実施する開発テーマにおいては医療機関による訪問規制や患者の来院自粛などによる症例登録遅延から開発の進捗に影響を及ぼすことが想定されます。

## (生産)

生産においては従前より安定供給体制を構築しており、現時点において当社工場の稼働に影響はありませんが、原材料等の調達に停滞が生じた場合には製品の供給が制限される可能性があります。

当社は今後もステークホルダーの安全および健康を最優先事項として感染拡大防止に努めつつ、事業活動を継続してまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億9千3百万円減少し、794億4千5百万円となりました。これは主に、現金及び預金は増加しましたが、無形固定資産のその他および受取手形及び売掛金が減少したためであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ22億9千万円減少し、363億7千4百万円となりました。これは主に、長期借入金、流動負債のその他および短期借入金が増加したためであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億9千6百万円増加し、430億7千万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加および株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から2.4ポイント上昇し54.2%となっております

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ10億5千7百万円増加し、83億5千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、33億1千1百万円（前年同期は53億3千万円の減少）となりました。これは主に、未払消費税等の減少はありましたが、税金等調整前四半期純利益および減価償却費の計上によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、5億3千1百万円（前年同期は17億3千9百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、17億2千2百万円（前年同期は32億5千3百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の返済によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年5月12日に「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費総額は、23億3千8百万円であります。

現在、製造販売承認申請中の選択的プロゲステロン受容体調節剤CDB-2914（ウリプリスタル）については、海外での有害事象発生によるリスク評価のため、開発スケジュールに影響する可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,294	8,352
受取手形及び売掛金	13,792	13,140
商品及び製品	9,087	9,442
仕掛品	353	414
原材料及び貯蔵品	4,602	4,532
その他	2,196	1,927
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	37,326	37,809
固定資産		
有形固定資産	13,539	13,165
無形固定資産		
無形固定資産仮勘定	8,446	8,421
その他	5,137	4,139
無形固定資産合計	13,584	12,561
投資その他の資産		
投資有価証券	9,794	10,263
その他	6,012	5,662
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	15,789	15,908
固定資産合計	42,913	41,636
資産合計	80,239	79,445
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,239	3,273
電子記録債務	2,801	2,813
短期借入金	2,748	2,198
賞与引当金	984	968
その他の引当金	13	—
その他	7,340	6,448
流動負債合計	17,127	15,702
固定負債		
長期借入金	13,671	12,772
環境対策引当金	820	820
退職給付に係る負債	6,655	6,732
その他	390	348
固定負債合計	21,537	20,672
負債合計	38,665	36,374
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	928	928
利益剰余金	39,560	40,828
自己株式	△2,191	△2,161
株主資本合計	39,495	40,792
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,293	2,504
為替換算調整勘定	△9	△40
退職給付に係る調整累計額	△205	△185
その他の包括利益累計額合計	2,078	2,277
純資産合計	41,573	43,070
負債純資産合計	80,239	79,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	26,582	27,403
売上原価	14,492	14,563
売上総利益	12,089	12,840
販売費及び一般管理費	11,343	10,894
営業利益	746	1,946
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	126	132
その他	104	68
営業外収益合計	230	201
営業外費用		
支払利息	31	29
休止固定資産費用	—	64
その他	75	101
営業外費用合計	107	194
経常利益	869	1,952
特別利益		
保険代理店事業譲渡益	49	—
特別利益合計	49	—
税金等調整前四半期純利益	918	1,952
法人税、住民税及び事業税	77	430
法人税等調整額	264	△30
法人税等合計	341	400
四半期純利益	577	1,552
親会社株主に帰属する四半期純利益	577	1,552

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	577	1,552
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△469	211
退職給付に係る調整額	21	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△31
その他の包括利益合計	△453	199
四半期包括利益	124	1,751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124	1,751



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	918	1,952
減価償却費	1,788	1,797
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△58	96
受取利息及び受取配当金	△126	△132
支払利息	31	29
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,813	652
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,288	△345
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,463	40
未払消費税等の増減額 (△は減少)	865	△1,146
その他	1,276	413
小計	△5,292	3,357
利息及び配当金の受取額	125	132
利息の支払額	△32	△29
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△131	△149
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,330	3,311
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△65	—
有形固定資産の取得による支出	△1,514	△547
無形固定資産の取得による支出	△57	△31
その他	△102	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,739	△531
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,200	△50
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,774	△1,399
自己株式の純増減額 (△は増加)	27	30
配当金の支払額	△199	△284
その他	—	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,253	△1,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,815	1,057
現金及び現金同等物の期首残高	11,107	7,294
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,291	8,352

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	24,177	2,405	26,582	—	26,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	47	47	△47	—
計	24,177	2,453	26,630	△47	26,582
セグメント利益	2,297	125	2,423	△1,676	746

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2. セグメント利益の調整額△1,676百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	25,128	2,275	27,403	—	27,403
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	25	25	△25	—
計	25,128	2,300	27,428	△25	27,403
セグメント利益	3,625	185	3,811	△1,865	1,946

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2. セグメント利益の調整額△1,865百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

(1) 主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高  
( 2 0 2 1 年 3 月 期 第 2 四 半 期 実 績 )

(単位：億円)

品 目 名	前 期 2020年3月期		当 期 2021年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第2四半期 実績	年間実績	第2四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	68.8	132.2	61.2	114.9	△ 11.1
甲状腺ホルモン剤 チラーゼン	34.3	68.9	35.8	71.7	4.3
子宮筋腫治療剤 レルミナ	8.7	26.2	25.2	59.2	191.1
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	24.7	47.9	22.7	36.4	△ 8.0
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	18.5	37.8	21.8	48.3	17.9
月経困難症治療剤 フリウェル	10.1	22.5	13.6	24.7	33.9
抗甲状腺剤 メルカゾール	7.0	13.8	7.0	13.8	△ 0.3
高血圧症治療剤 アムロジピン	7.9	14.4	6.3	11.8	△ 19.9
高脂血症治療剤 リビディル	7.8	13.7	5.9	11.9	△ 24.1
筋萎縮性側索硬化症用剤 リルゾール	3.6	8.5	5.6	9.6	55.2
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	6.9	12.6	5.2	10.6	△ 25.5
子宮収縮抑制剤 子癇発症抑制・治療剤 マグセント	-	0.6	4.7	8.8	-

※ カンデサルタン配合剤を含む

## (2) 臨床開発状況

臨床開発状況

(2020年11月現在)

2020年11月4日  
 あすか製薬株式会社  
 東証市場第一部  
 コード番号 4514

区 分	(開発番号) 一般名	領域・効能	備 考
申請中	(CDB-2914) ウリプリスタル	子宮筋腫	Laboratoire HRA Pharma,SA (フランス)より導入
PhaseⅢ	(TAK-385) レルゴリクス	子宮内膜症	武田薬品工業(株)より導入
PhaseⅡ/Ⅲ	(L-105) リファキシミン	肝性脳症 (小児適応)	Alfasigma S.p.A.(イタリア)より 導入
PhaseⅡ	(AKP-009) 未定	前立腺肥大症	自社創製品 杏林製薬(株)との共同開発
PhaseⅠ/Ⅱ	(LF111) ドロスピレノン	避妊	Insud Pharma (スペイン)より導入
PhaseⅠ	(AKP-501) フォリトロピンガンマ	不妊症	JCRファーマ(株)からの導入および 共同開発
PhaseⅠ	(L-105) リファキシミン	クローン病	Alfasigma S.p.A.(イタリア)より 導入

## (3) [連結] 設備投資、減価償却費、研究開発費

## 1. 設備投資

	2020年3月期	2021年3月期
第2四半期	1,293 百万円	401 百万円
通 期	2,240 百万円	(予) <b>871</b> 百万円

## 2. 減価償却費

	2020年3月期	2021年3月期
第2四半期	1,788 百万円	1,797 百万円
通 期	3,669 百万円	(予) <b>3,299</b> 百万円

## 3. 研究開発費

	2020年3月期	2021年3月期
第2四半期	2,459 百万円	2,338 百万円
通 期	4,913 百万円	(予) <b>4,575</b> 百万円